



南斗六星研修ネット

Sagittarius Training Network in HIROSHIMA

ひろしま

広島中山間地病院連携
地域医療研修プログラム



南斗六星研修ネットひろしま研修管理委員会

〈委員長〉

中西 敏夫(市立三次中央病院長)

〈委員〉

石原 晋(公立邑智病院長)

住元 一夫(JA吉田総合病院長)

武澤 巖(安芸太田病院長)

原田 亘(神石高原町立病院長)

安信 祐治(三次地区医療センター病院長)

郷力 和明(庄原市立西城市民病院長)

多幾山 渉(広島市立安佐市民病院長)

中島 浩一郎(庄原赤十字病院長)

日高 徹(安芸太田病院事業管理者)

横矢 仁(府中市立府中北市民病院長)

〈事務局〉

広島市立安佐市民病院 庶務課

府中市立府中北市民病院

<http://wwwsv.city.fuchu.hiroshima.jp/>

医療施設概要 (平成23年4月現在)

- 診療科: 内科、外科、整形外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科
- 専門外来: 糖尿病外来、甲状腺外来、認知症外来
- 病床数:

一般	療養	計
60	50	110

- 平均在院日数(一般) : 22.0 日
- 1日平均入院患者数 : 80.4 人
- 1日平均外来患者数 : 211.3 人
- 救急外来件数(年間) : 1,228 件
- 手術件数(年間) : 193 件

主な医療機械

- 医療情報システム : オーダリングシステム
- 画像診断装置 : MRI, 16列 MDCT, FCR, DR, DSA, 外科用イメージ装置、マンモグラフィー
- 遠隔画像診断システム: 最短 1 時間で詳細な読影結果が判明
- 内視鏡 : 上部下部消化管用、経鼻内視鏡
- 超音波診断装置 : 5 台
- 各種機能診断装置 : 血圧脈波検査装置、神経伝達検査装置、重心動揺計
- 各種治療機器: 顕微鏡手術装置、紫外線治療器
- 透析用装置 : 11 台

研修プログラムの方針及び特徴

- 上部消化管内視鏡検査を苦痛なく行えるようになるまで責任をもって指導します。
- 遠隔画像診断システムを利用して、CTやMRIなど一流放射線医の読影技術が身に付きます。
- 常勤医師 6 人と非常勤医師 12 人の指導体制です。これまでの各科個別研修を総合的なものへと発展させ、全人的見地から治療法を選択する「人間学」の実践をしていただきます。患者さんとの心をふれ合う医療をとおして医師としてふさわしい人格を涵養してください。
- 超高齢化社会の到来に備え、保健・福祉・医療・介護を連携統合した地域包括医療(ケア)を理解し、実践して頂きます。



商店街



病院ロビー



病院全景

研修・認定施設

- 病院機能評価認定施設
- 日本消化器病学会関連施設
- 日本透析医学会専門医制度教育関連施設
- 臨床研修病院指定施設(協力型)
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設

研修体制

- 給与 : 年額 1,200 万円～(賞与、諸手当含む)
- 学会、研修会 : 2 回/年 まで全額補助
- 身分 : 正規職員
- 休暇 : 有 有給休暇
- 宿舎 : 多数有(希望により入居可)
- 研修日 : 適宜対応
- 当直 : 有 3 回/月

医師サポート体制

- 医療クラーク配置 : 無
- 短時間勤務制度 : 無
- 育児支援事業 : 無
- 院内保育実施 : 無
- 職場復帰支援事業 : 無

病院のアピールポイント

府中北市民病院は、昭和 18 年 4 月に全国で9番目、広島県では初の国民健康保険病院として開設されました。診療圏は府中市上下町、三次市甲奴町、神石高原町、庄原市総領町、世羅町など広域であり、その人口は約12000人です。旧甲奴郡、旧神石町唯一の一般病棟を有する病院として、必然的に救急を含む急性期医療と、慢性期医療の両面を担ってきました。また、従来から広島大学との強力な連携のもと、学生アドバンス・コース実習や、協力型臨床研修病院として地域医療の実習機関としての役割を果たしております。

病院はまだ新しく、医療機器も田舎の割には揃っており透析診療も行っています。病院のスタッフや住民も、古くから医師不足に苦しんできた土地柄であり、医師を大切にする気持ちは並々ならぬものを痛感しております。当院での研修はきっと思い出深いものとなることでしょう。

病院基本方針

- **患者第一の、満足のいく医療を提供する**
 - ・ 田舎にあっても都会と同じレベルの医療を提供すべく、常に自己研鑽に励み必要な知識・技術を習得すること。
- **保健・福祉・介護と連携し地域で安心して暮らせるよう支援する**
 - ・ 常に地域のニーズを把握し、地域の医療・福祉施設などと連携を強化するとともに、健診、健康啓蒙活動、学校保健等を積極的に推進し、地域住民の健康づくりの拠点となること。
- **地域での救急医療体制を維持する**
 - ・ 救急患者に対しては、専門外だからと断ることなく横断的に各診療科同士の連携を図り、可能な限りこれに対応すること。
- **地域医療に関心のある医師を育てる**
 - ・ 多くの優秀なプライマリケア医を育て、中山間地域の医師不足を解消し、将来は全県下どこでも地域住民が平等で格差のない医療が受けられ、安心して暮らせるようになることを目指します。

指導医からのメッセージ

半年間で何が出来るか？

当院の売りは、胃カメラ(上部消化管内視鏡検査)としました。一人前になるには、まず胃カメラが苦痛なく挿入できるようになることが最も大切です。診断技術はおのずとついてきます。PPI開発時、臨床治験で 2 週間に一度の内鏡検査被験者に行う必要がありました。これを脱落なしに完遂させてきた指導医が、苦痛のない上部消化管内視鏡検査のコツを伝授し、半年間で胃カメラが一人前にできるようになるよう、責任をもって技術指導します。来たれ若者よ！



横矢 仁 病院長



病院官舎



三玉家

お問い合わせ先

連絡先 : 事務局

所在地 : 〒729-3431

広島県府中市上下町上下 2100 番地

TEL : 0847-62-2211

FAX : 0847-62-4706

URL : http://wwwsv.city.fuchu.hiroshima.jp/kita_hp/